

2017 SGH通信

【1年生配布用】

No.20 岐阜県立大垣北高等学校 SGH 推進部

聴き手の共感を得るプレゼンの極意の習得を目指して、

「プレゼンテーション講演会」を実施します！

前回お伝えした通り、皆さんはこれから完成させた日本語論文を英語にし、それに基づいて10月以降のグループで英語プレゼンを作成し、グループによる発表をしてもらいます。人に情報を伝えるためのコツを講演会の中で、少しでもつかんでください。今回の通信では、講師の紹介をします。

■ 目的 「SGH 課題研究」において探究してきた研究成果を、聴き手に分かりやすく印象に残るものとして伝達するため、プレゼンテーションの技術を身に付けることを目的とする。

■ 実施概要

- 1 日時 平成30年1月26日（金）
3時間目 10:45 ~ 11:35 【5・6・7・8組】
4時間目 11:45 ~ 12:35 【1・2・3・4組】
- 2 場所 大垣北高校ゼミナール室
- 3 講師 京都造形芸術大学 吉田大作 先生

【講師紹介】

日本最大の芸術大学で事務局長を務めながら、1年間に100本以上の講演依頼を受け、毎年国内外2万人の高校生を中心に講演を行う。大学では、全13学科23コースの学生を対象とした『キャリアデザイン』の授業を担当。

「日本で最も高校生に直接講演をしている一人」と数えられる。

【主な講演テーマ】

- 「進路を検討する前に考えておくべきこと」
- 「プレゼンテーションの鬼」
- 「コミュニケーション力向上ワークショップ」
- 「問題解決力向上ワークショップ」

その他、教員向けの研修、保護者向けの講演、企業や自治体での企画・広報・プレゼン研修なども多数行っている。



【本校でのご講演風景】

- 4 演題 「聴き手の共感を得るプレゼンテーション」
- 5 持ち物 筆記用具・SGHファイル・「SGH通信 No20（本紙）」裏：学習シート

【プレゼン評価項目】※ プレゼンは、グループ発表です。

評価項目			
①パワーポイントの内容がわかり易い。	②口頭による内容説明が簡潔、的確、論理的である。	③相手に内容が伝わるように効果的に話している。（スピード・ポーズ・声量・発音・アイコンタクト）	④質問に対する応答が適切である。

～メモ欄～